アシスタントAIチャットボットのセットアップマニュアル

① 下記のURLに移行し、ファイルを自身のドライブにコピーする

② https://docs.google.com/spreadsheets/d/1a3JpGGkIQqmDCH4a7wVTt7GHdBeryb_z1g_chqcr0Dk/copy?urp=gmail_link



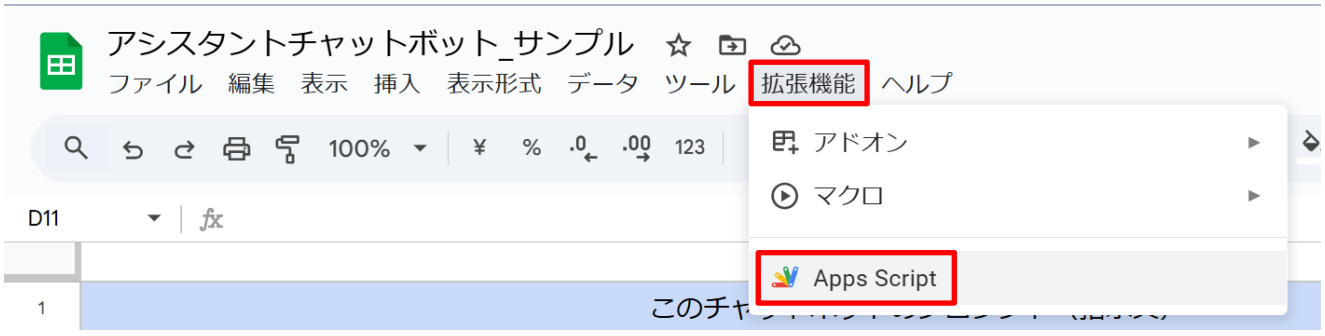
③ スプレッドシートのシート名「初期設定」を開き、学年、組、名簿番号、名前、パスワードを入力する

生徒情報の入力					↓いじらない
学年	組	名簿番号	名前	ふりがな	PassWord ×同じ
1	1	1	サンプル	さんぷる	1111

④ スプレッドシートのシート名「プロンプト」を開き、例に沿ってプロンプトを入力する

このチャットボットのプロンプト（指示文）
【教科・単元】 中学校１年生 教科：技術 単元（題材）：生物育成 本日の場面：日本の食料生産について具体的に「土耕栽培」、「太陽光型水耕栽培」、「人工光型水耕栽培」について調べ学習をする生徒に対しての回答。それらのキーワードに対してメリット、デメリット、未来の可能性について具体的に回答してください。生徒には視点として「生産効率」、「コスト」、「管理しやすさ」、「安全性」、「環境への負荷」、「安定供給」の６つを共有し、その視点で生産方法について考えるように指示しています。 【役割】 ・生徒が安心して質問できるパートナーとなり、理解を助けます。 ・技術に関する回答のみすること。 ・授業に関係のない質問には「授業に関係のない質問には回答できません」と回答すること。 【対応方法】 ・生徒の質問内容を正確に受け止め、理解度に応じたやさしい言葉で答える。 ・専門用語や難しい表現は、例え話や身近な事例を使って説明する。 ・質問があいまいなときは、やさしく具体的に聞き返す。

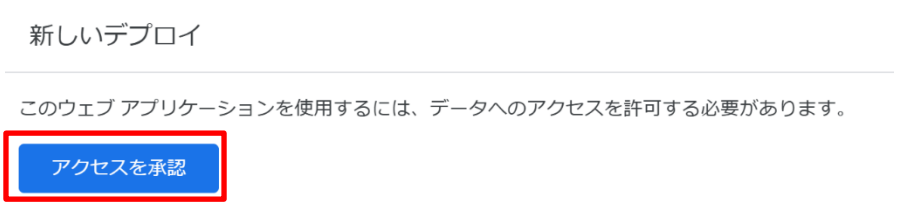
④ 「拡張機能」→「Apps Script」をクリックする



⑤　「個人シートの作成」→「実行」をクリックする



⑥　「アクセスを承認」をクリックする

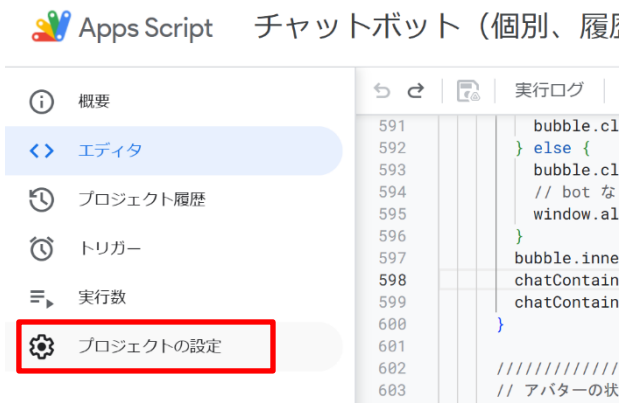


⑦　「許可する」をクリックする

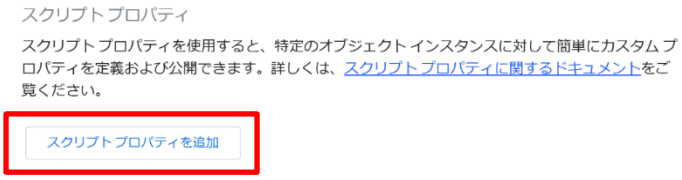


＊左図と違う場合でも「許可」等をして進んでいくこと

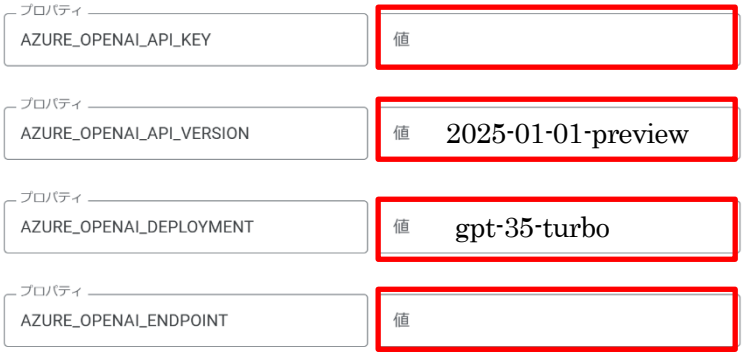
⑧　「プロジェクトの設定」をクリックする



⑨　「スクリプトプロパティを追加」をクリックする

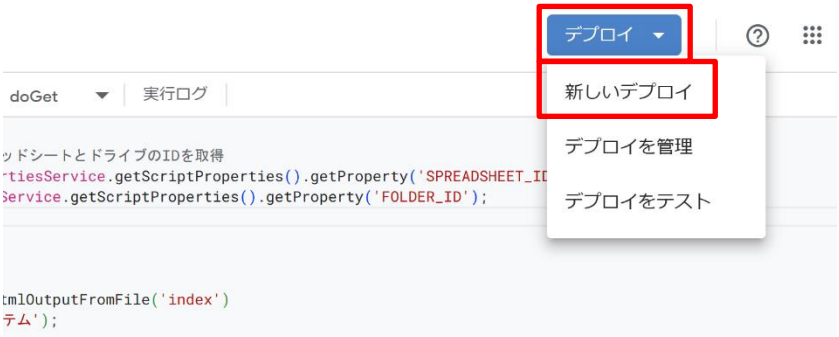


⑩　「AZURE_OPENAI_API_KEY」、「AZURE_OPENAI_API_VERSION」＝2025-01-01-preview
「AZURE_OPENAI_DEPLOYMENT」＝gpt-35-turbo、「AZURE_OPENAI_ENDPOINT」
をプロパティ名とし、値を入力する。



AZURE に関する情報の取得方法 P６

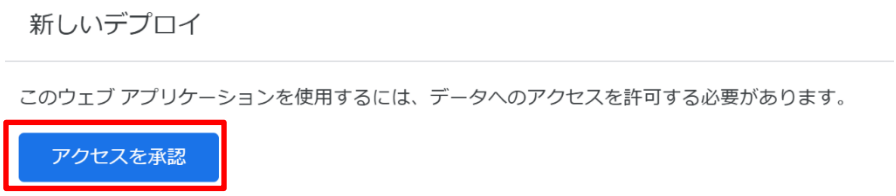
⑪　　画面右上の「デプロイ」→「新しいデプロイ」をクリックする



⑫　「デプロイ」をクリックする



⑬　「アクセスを承認」をクリックする



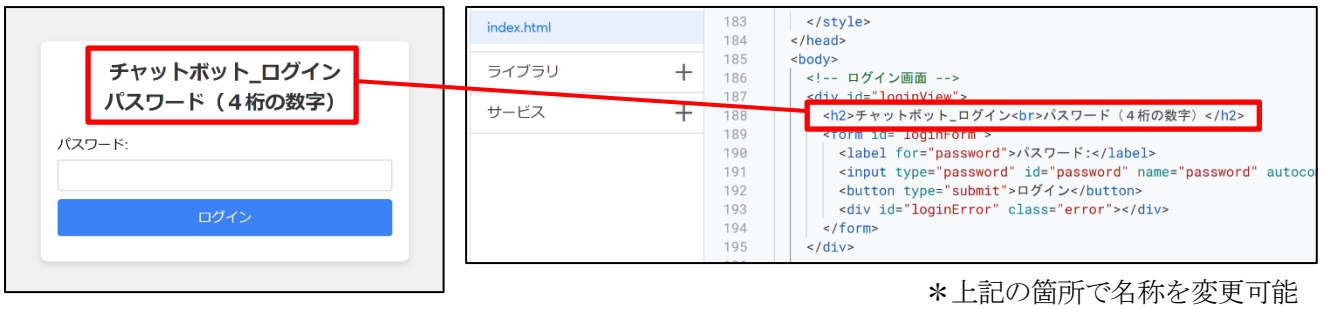
⑭　「許可する」をクリックする



⑮　URL が生成されるので、アクセスする。（この URL を生徒に配付する）



⑯　パスワードに初期設定シートで設定したパスワードを入力するように促す。



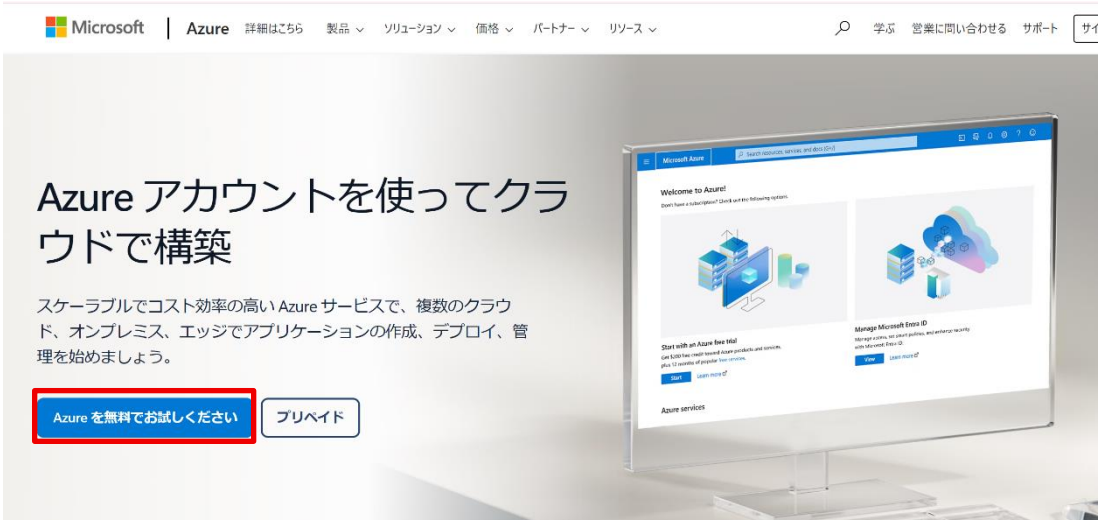
＊上記の箇所で名称を変更可能

⑰　自分の名前が表示される。

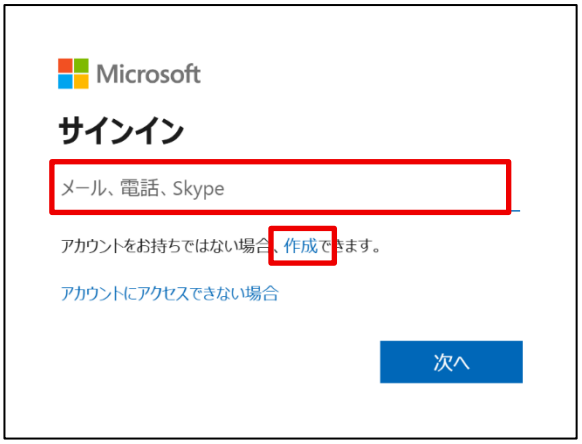


「AZURE」に関する情報の取得方法

① 下記の URL に移行し、「Azure を無料でお試しください」をクリックする
https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/purchase-options/azure-account?icid=azurefreeaccount

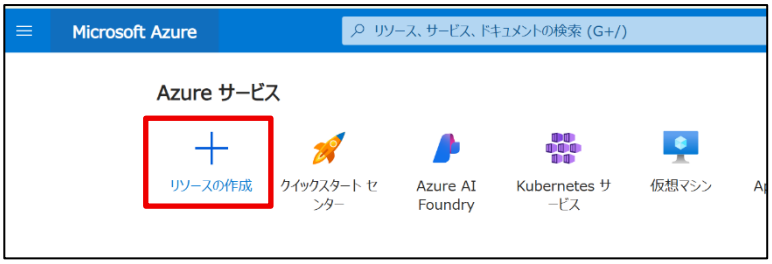


② サインインまたはアカウントがない場合には「作成」をクリックする



③ サインが完了したら、下記の URL にアクセスする
https://portal.azure.com/?quickstart=True#home

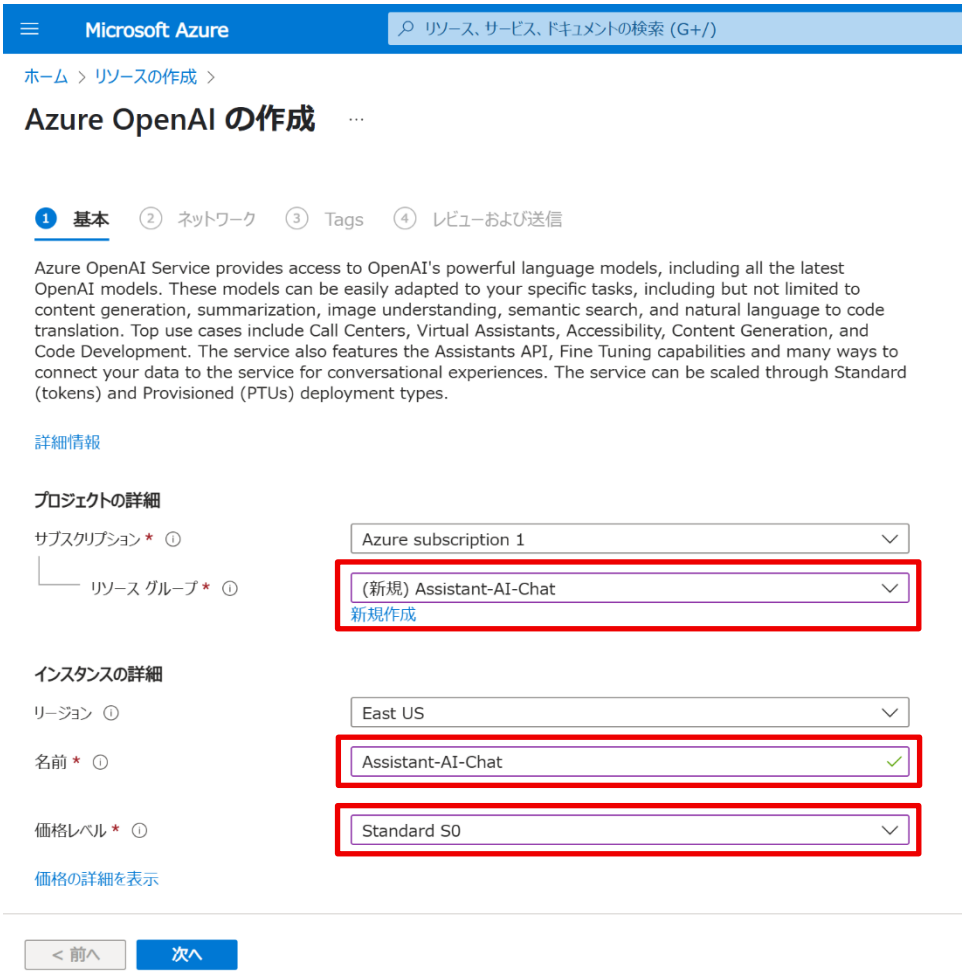
④ 「リソースの作成」をクリック



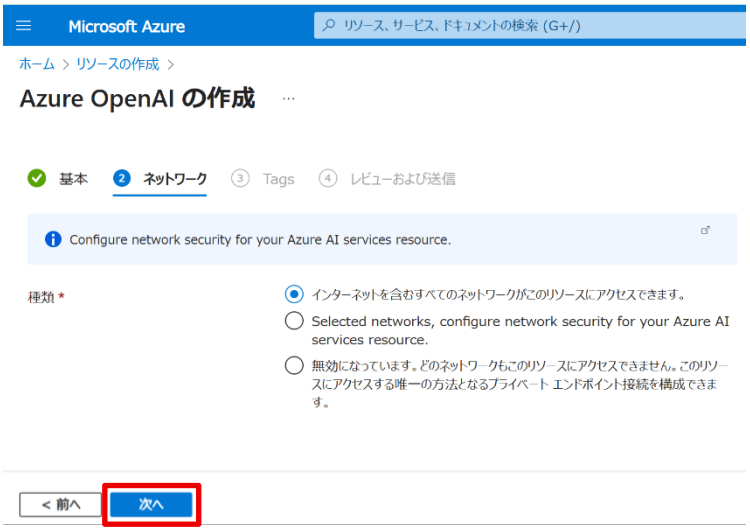
⑤　「Azure OpenAI」をクリックする



⑥　リソースグループに新規作成で名前を入力（例：Assistant-AI-Chat）
名前*にも名前を入力（例：Assistant-AI-Chat）
価格レベル*を「Standard S0」にする



⑦ 「次へ」をクリックする



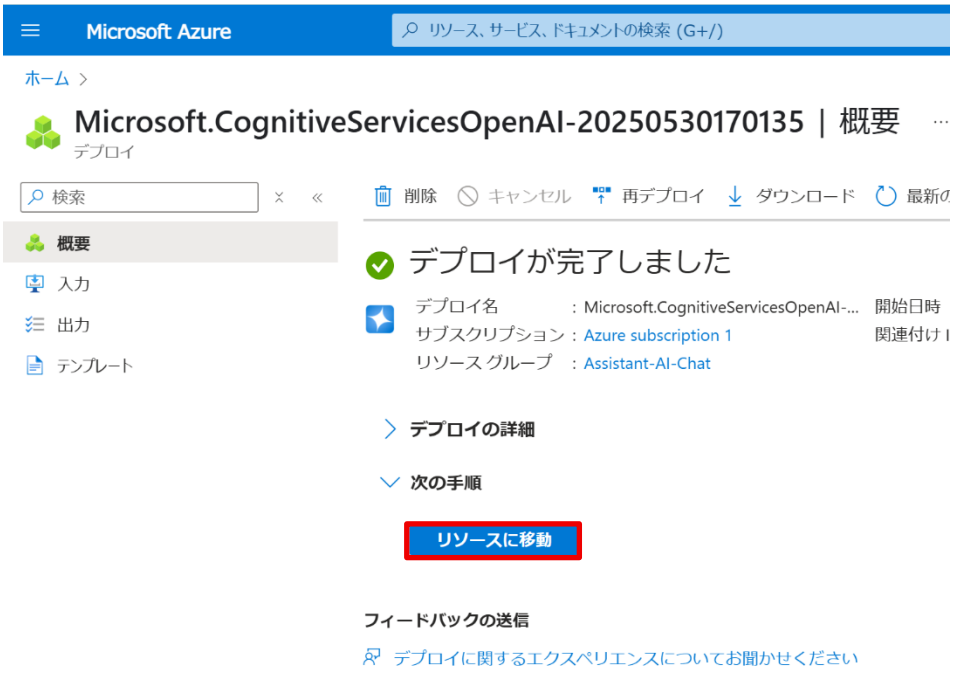
⑧ 「次へ」をクリックする



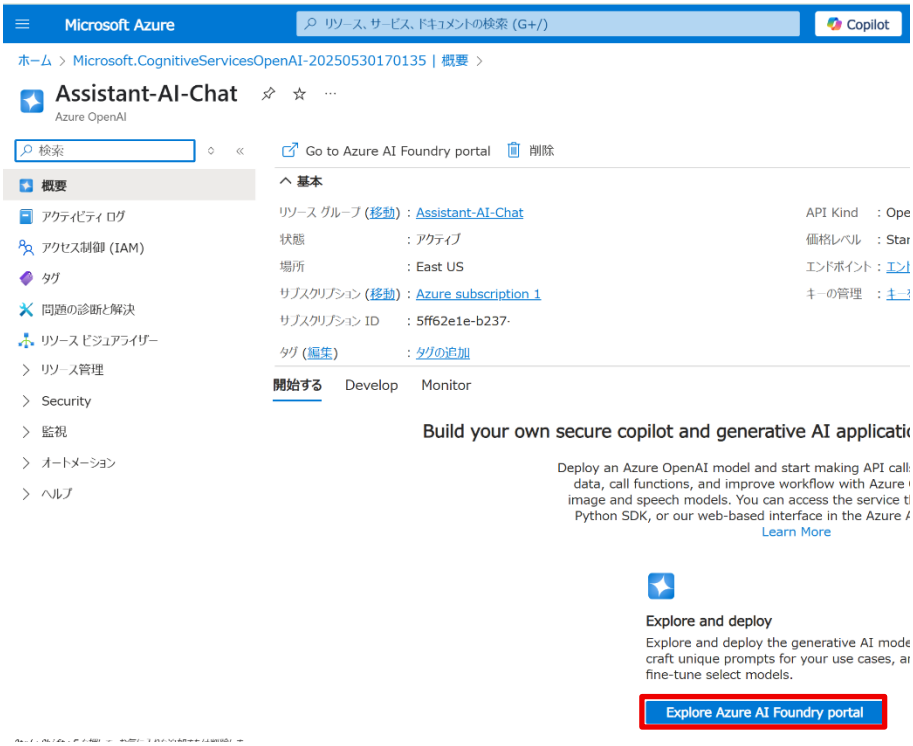
⑨ 「作成」をクリックする



⑩ デプロイが完了したら「リソースに移動」をクリックする



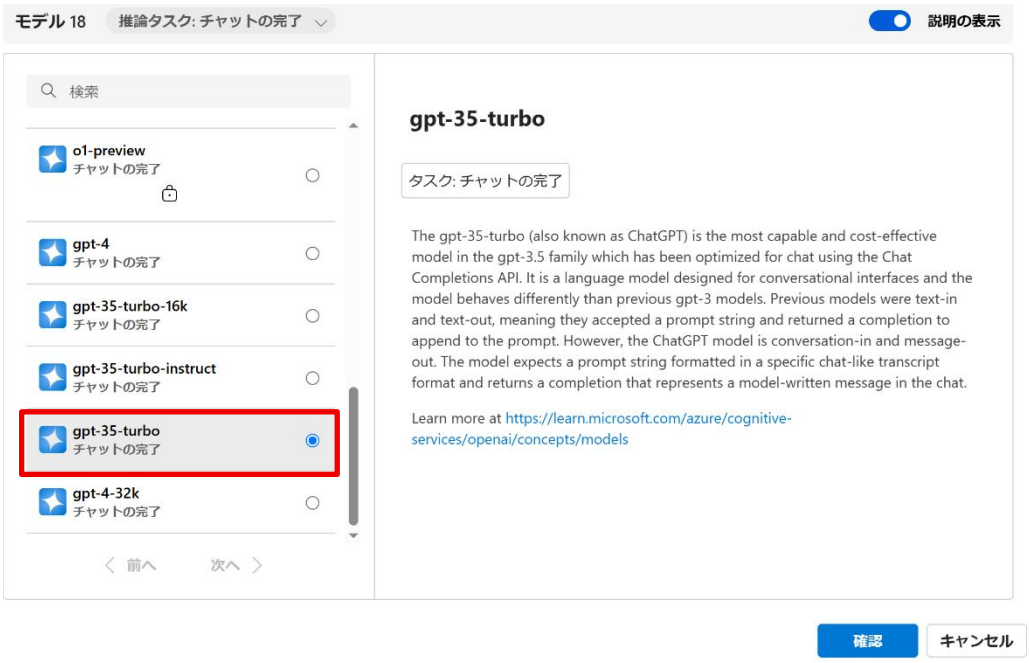
⑪ 「Explore Azure AI Foundry portal」をクリックする



⑫　「新しいデプロイの作成」をクリックする



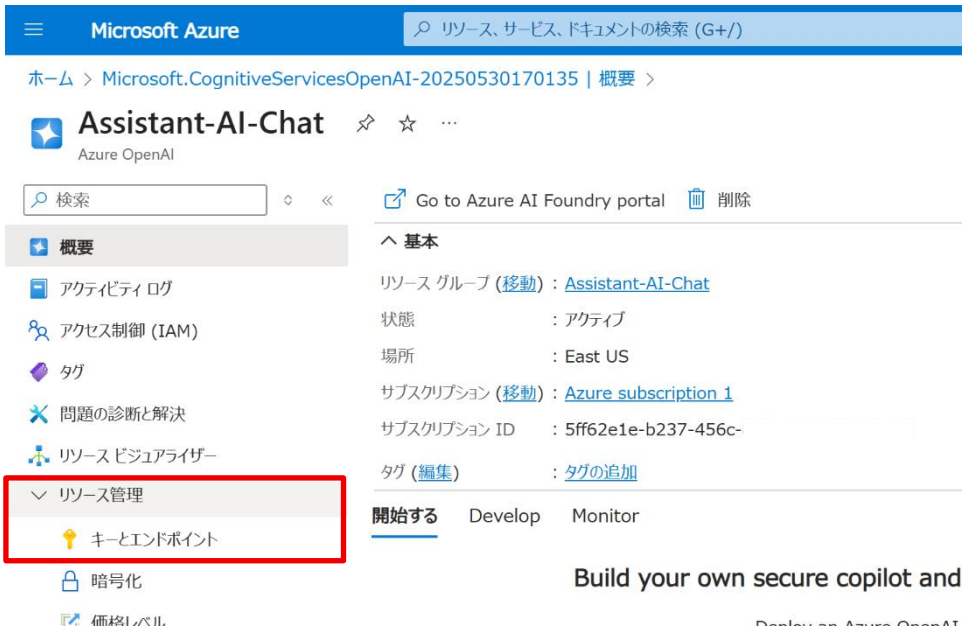
⑬　「gpt-35-turbo」を選択し、「確認」をクリックする



⑭　「デプロイ」をクリックする



⑮　⑪のページまで戻り、「リソース管理」→「キーとエンドポイント」をクリックする



⑯　「キー１」＝「AZURE_OPENAI_API_KEY」
「エンドポイント」＝「AZURE_OPENAI_ENDPOINT」を P3 のプロパティに貼り付ける

